

発信!

地域自慢 44

「地域の底力」実践プロジェクト編

島守地区

ことばで繋げる地域の歴史
～島守弁ミニ事典、かるたの活用～

島守弁かるたの制作について、島守地区自治会連合会の堰端治会長、読み札原案・箱デザイン・CD作成を担当された同会の中村悟志事務局長、かるたを朗読された川畑和子さんにお話をうかがいました。

○島守弁を後世に残すために…

島守地区では、島守弁を後世に残すための取り組みとして、平成28～29年度にかけて、「島守弁ミニ事典」を制作しました。今回はその第二弾として「島守弁かるた」を制作しました。

○こだわりとアイデアの結晶「島守弁かるた」

子どもから大人まで幅広い年齢層に島守弁を知ってもらうことをコンセプトに、遊びながら島守弁に触れることのできる「かるた」を作ることになりました。かるたの絵は島守小・中学校の子どもたちに描いてもらいましたが、地域のあたたかみが表現され、とても素敵な絵札が出来上がりました。また、ネイティブな島守弁の「音」を保存・伝承し、楽しんでもらうため、音声CDも制作しました。かるたの読み札を島守弁の味を失うことなく、俳句の五七調の韻のようにリズムカルな言

い回しに整えることはとても大変でしたが、会心の出来に仕上がったと思います。

○かるたの活用と反響

昨年12月の「島守に触れる会」では、島守弁かるたを使ったかるた大会を開催しました。多くの子もたちが参加し、かるたを通して島守弁に触れ、楽しく学んでくれたようでした。また、島守弁かるたの書店販売分は完売し、予想を上回る反響に驚きと嬉しさを感じました。

島守地区では、これからも島守弁に触れ、後世に伝えるための取り組みを行っていきます。



こだわりとアイデアの結晶「島守弁かるた」

岡島守地区自治会連合会 ☎83-2139 (堰端治会長)